

ひとよし市議会だより

2018/ 第 95 号 / 平成 30 年 2 月 15 日

発行：熊本県人吉市議会 / 議会報編集委員会



ふるさと歴史の広場で執り行われた平成 30 年人吉市消防出初式の模様
昨年、第 23 回全国女性消防操法大会で初優勝した人吉市女性消防隊の観閲

CONTENTS

主な 内容

- P 2 ～ 6 ……定例会報告・委員会報告
- P 7 ～ 9 ……一般質問
- P10 ……議案等の議決結果
- P11 ……意見書
- P12 ……子ども議会を開催しました、編集後記

市のホームページでもご覧になれます。

URL <http://www.city.hitoyoshi.lg.jp> / E-mail gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp

1 2 月 定 例 会 報 告

一般会計補正予算 9,780 万 9 千円増額を可決

(補正後の総額は 172 億 2,998 万 6 千円)

平成 29 年 12 月定例会は、11 月 28 日から 12 月 19 日までの 22 日間の日程で開催しました。

平成 29 年度一般会計の補正予算は、歳入では国、県の補助事業に対する補助金及び負担金の交付決定などに伴う補正などのほか、歳出では、(仮称)旅カフェエントランスセンター整備事業に係る経費のほか、扶助費などが増額補正されています。

《特別会計補正予算》

人吉市国民健康保険事業特別会計	5,083 万 6 千円 増額し、総額	52 億 2,535 万 1 千円
人吉市介護保険特別会計	554 万 4 千円 増額し、総額	44 億 1,403 万円
人吉市介護サービス事業特別会計	204 万 6 千円 増額し、総額	3,673 万 5 千円
人吉市工業用地造成事業特別会計	139 万 1 千円 増額し、総額	1,444 万 6 千円
人吉市水道事業特別会計 収益的支出	82 万 7 千円 増額し、総額	5 億 115 万 6 千円
資本的支出	5 万 2 千円 増額し、総額	3 億 2,648 万 8 千円
人吉市公共下水道事業特別会計 収益的支出	26 万 3 千円 増額し、総額	10 億 9,377 万 9 千円
資本的支出	15 万 1 千円 増額し、総額	5 億 9,342 万 9 千円

《平成 28 年度歳入歳出決算を認定》

9 月定例会で設置した決算特別委員会では閉会中に 4 回にわたり審査を行い、11 月 28 日の本会議で全会一致で認定しました。同特別委員会では市に対し下記の指摘・要望事項とあわせて、今後の財政運営に当たっては、新市庁舎建設に多額の費用が必要となることを考慮し、引き続き行財政運営全般にわたる改革を推進するとともに、財政状況をより正確に把握・分析し、歳出全般にわたる徹底した見直しによる歳出総額の抑制と重点化を進め、効率的で持続可能な財政運営を行うよう要望しました。

- 1 税・使用料・負担金の徴収については、一定の成果は見られるものの、人口の減少や高齢化による影響を鑑み、より一層の収納率の向上と収納方法の検討に努め、収納未済額及び不納欠損については、税負担の公平の見地から滞納者の追跡調査、実態調査に力を入れ、さらなる歳入の確保に努められるよう要望する。
- 2 国民健康保険事業、介護保険、後期高齢者医療特別会計については、人口の減少や高齢化の進展により、今後も 1 人当たりの医療費等に係る支出の増大が予想されることから、市民健診受診率の向上や介護予防事業を推進するため、各種事業の周知徹底と受診率の低い若年層の対策を講じること。また、関係機関との連携を密にし、市民に対するジェネリック医薬品のさらなる利用促進等の周知とあわせて医療費の適正化を図り、健全な財政運営に努められるよう要望する。
- 3 工業用地造成事業については、雇用拡大や地域経済活性化に確実につなげ、早急な企業誘致が図られるよう、関係機関との調整を密にし、より積極的な企業・工場誘致活動に取り組まれるよう要望する。
- 4 平成 28 年度において発生した小学校プール水道水流出事故や、不適正な補助金交付事務、土地使用料支払遅延に伴う延滞金支払の発生、費用弁償支払漏れ等複数の事務処理ミスについては、再発防止に向けた全庁的な取り組みがなされているようであるが、今後も継続的な再発防止対策を推進し、これ以上住民サービスの低下を招くことのないよう最大限に努めること。

	歳入総額	歳出総額
一般会計	161 億 7,767 万 2,412 円	156 億 2,262 万 4,036 円
特別会計 (水道・下水道を除く)	102 億 1,450 万 8,536 円	96 億 6,073 万 9,916 円
合 計	263 億 9,218 万 948 円	252 億 8,336 万 3,952 円

総務文教委員会報告

●委員長 大塚 則男 ●副委員長 宮崎 保
●委員 平田 清吉・犬童 利夫・西 信八郎・本村 令斗

人吉応援団基金条例の一部改正を承認

ふるさと納税による寄附額増加に伴い関係経費の負担が高額になるため、経費の財源に基金を充当できるように人吉応援団基金条例の改正を行うものです。

人吉市体育施設指定管理者を「NPO法人 人吉市体育協会」に指定することを承認

市内11ヶ所の体育施設の管理を平成30年4月1日から平成35年3月31日までの5年間、「NPO法人 人吉市体育協会」へ指定することについて審査を行い、承認しました。

一般会計補正予算（第6号）を承認

災害対策費の増額補正の内容は、大規模災害時における避難場所でのマンホールを活用したトイレ設備設置に向けた実施設計業務委託料として480万円のほか、平成30年2月に開催される「水防災タイムラインカンファレンス in 球磨川」の会場借り上げ等に伴うものです。

要保護準要保護児童就学援助費、要保護準要保護生徒就学援助費、特別支援教育就学奨励費のうち、新入学児童生徒学用品費については、これまで年度

明けの7月に支給することとなっておりますが、新入学準備を行うのは3月であることから、経済的な負担感を軽減するため要保護準要保護児童生徒等に係る扶助費を3月に前倒しして支給するための補正です。

一般会計補正予算（第7号）を承認

補正内容は、人事院勧告に伴うもののほか、赤池ごみ処理施設延命化に伴う条件整備の1つの赤池水無町公民館建設に対して、任意の補助金として赤池水無町公民館建設に伴う環境整備補助金200万円を支給するものです。



総務文教委員会行政視察報告

日程：平成29年10月18日（水）～20日（金）

視察先：東京都荒川区

項目：中学生を対象とした防災部（レスキュー部）について

内容：中学生を対象とした防災部活動の状況を研修。

まとめ：生徒数3,234人の内、444人が防災部員として登録し、その中で430人がジュニア防災検定の資格を取得されていました。防災部の目的①「自分たちの町は自分達で守る」という意識のもと、地震等の有事の際に後方支援ができるように日頃から減災活動に取り組む、目的②「将来地域活動の中核になる人材の育成、消防団入隊、町内活動に参加」を掲げ、地域の防災訓練等への参加、自助の防災、共助の防災、公助の防災について学び考えることができることでした。将来に向け、是非取り組んでいくべきと考えた研修になりました。

視察先：北海道富良野市

項目：集客拡大と都市機能集積づくりについて

内容：中心市街地活性化基本計画の1つであるコンパクトシティが可能なかな等、集客拡大と都市機能集積づくりについて。

まとめ：集客拡大と都市機能集積づくりは、キーパーソンになる人が必要不可欠で、行政主体ではなく民間、商工会議所などが中心になることが大切である

ということをお聞きました。富良野市では国の補助金の活用を受けながらも行政と切り離れたまちづくり会社を設立されていました。

また、土地価格が上昇・安定していないと金融機関を動かすことができないし後継者育成・世代交代も厳しいことから地価を守ることは大切なことであるとのことでした。

本市との大きな違いは、富良野市においては大型商業施設が参入していないことから、本市のコンパクトシティ政策への取り組みの厳しさを感じました。



ふらのマルシェ（富良野市）

厚生委員会報告

●委員長 高瀬 堅一 ●副委員長 永山 芳宏
●委員 塩見 寿子・井上 光浩・三倉 美千子・田中 哲

水道管漏水に伴う車両損傷事故の損害を賠償

事故の内容は、平成 29 年 7 月 27 日、中神町字大柿の市道において、水道管漏水が原因で陥没した路面に、業務中の民間車両が落下し、車両に損傷を与えたものです。市の過失割合は 100%、賠償額は 44 万 40 円となりますが、日本水道協会水道賠償保険により支払われます。

一般会計補正予算 2 件を承認

総務費の増額補正は、平成 29 年分給与支払報告書をデータ化するためのデータ入力に伴う委託料、女性活躍社会の構築のための環境整備の一環として国が進めているマイナンバーカード及び住民票等への旧姓併記をするためのシステム改修委託料などです。

民生費の増額補正は、過年度分の年金生活者等支援臨時福祉給付金補助金及び臨時福祉給付金等給付事務費補助金の精算に伴う補正、日中一時支援事業の利用者増に伴う委託料の補正、老人福祉施設入所委託料の事務費等の基準額の改定に伴う補正、軽度障害児保育児童補助金、放課後児童健全育成事業補助金などの最終見込みによる補正、保育所及び認定こども園に係る処遇改善等加算や入所児童の増など

に伴う子どものための教育・保育給付費負担金の補正などです。委員から、「軽度障害児保育児童補助金は市単独では財政上かなり厳しいので、国の補助があつてしかるべきではないか」との意見がありました。

衛生費の増額補正は、高齢者のインフルエンザ予防接種及び肺炎球菌予防接種の接種希望者数の伸びによる個別接種委託料の補正、各種がん検診委託料の最終見込みによる補正などです。

国保特別会計など特別会計 8 件を承認

国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）は、保険給付費の見直しや一般会計繰入金の増額等、介護保険特別会計補正予算（第 2 号）は、介護報酬等システム改修などに伴う補正、ほか 6 件は人事院勧告に準ずる人件費の補正等です。

水道・公共下水道決算の 2 件を認定

9 月議会で継続審査としていた平成 28 年度の水道事業と公共下水道事業の特別会計利益の処分及び決算の認定についての 2 件の案件は、閉会中の 10 月に 3 日間にわたって慎重に審査を行い、賛成多数により可決・認定しました。

厚生委員会行政視察報告

日程：平成 29 年 11 月 8 日（水）～ 10 日（金）

視察先：青森県弘前市

項目：子育て支援の取り組みについて

内容：弘前市は、市経営計画に「子どもたちの笑顔あふれるまち弘前」を掲げ、様々な子育て支援の取り組み事業を実施されています。主なものは、ウェブサイト「ぎゅっと」の運用、応援企業認定制度、保育料の軽減、子ども医療費給付事業、多子家族応援パスポート事業、駅前こども広場運営事業などです。他にも関連事業とタイアップし、不妊治療費助成事業、5 歳児発達相談事業等、多くの事業を手掛けていました。

まとめ：全国的にも知名度が高い都市ですが、行政推進力も高いものを感じました。今後もさらに独創性のある事業を展開されるようです。本市においても、継続性と効果のある事業の展開が求められると思いました。少子化対策と子育て支援のあり方を市民の方々と認識を共有し、一丸となって取り組む必要性を感じました。

視察先：秋田県大館市

項目：ごみ減量の取り組みについて

内容：大館市は、かつて鉱業が盛んな市でしたが、閉山後は鉱業関連の技術を活用した土壌洗浄や使用済み小型家電製品からのレアメタル改修事業、廃ブ

ラスティック・廃木材回収など各種リサイクル事業を推進してきました。また、小型家電の「小電」と「古電」をかけ「こでん」回収と銘打ち、全国に先駆けた取り組みが行われています。今後は一般ごみ等の減量に取り組む予定とのことでした。

まとめ：大館市は、企業や市民の理解のもと、ごみ減量・リサイクルに取り組まれており、行政の取り組む姿勢の大切さを痛感しました。本市においては、以前ごみ出し量で県下ワースト 2 になったこともあり、家庭ごみの減量が課題となっています。市民の皆様とごみ減量の目的、必要性を理解し合い、取り組むべきだと強く感じました。



大館市で説明を受ける厚生委員会

経済建設委員会

●委員長 笹山 欣悟 ●副委員長 豊永 貞夫
●委員 宮原 将志・福屋 法晴・村上 恵一・仲村 勝治

一般会計補正予算 経済部関係に1,411万2千円増額、建設部関係に2億8,679万9千円減額計上

経済部関係においては、(仮称)まち・ひと・しごと総合交流施設管理費を新しい目として新設し、317万5千円が計上されています。

(仮称)まち・ひと・しごと総合交流施設(旧国民宿舎)の開設に向けた施設設備品の購入費です。

大きな液晶モニターに観光地などの映像を流すことについては、旧国民宿舎のロビーにあったものがしっかりしているので再利用を図っていききたいとの説明がっております。

また、NHK大河ドラマ「西郷どん」放映に伴う「西南の役周遊マップ」及び「中国語版観光リーフレット」の作成に伴う印刷製本費に関し、委員から「西郷軍の本拠地としては新宮簡(たけま)のストーリーはメインになってくると思うので、ぜひ織り込んでいただきたい」との要望がっております。

土木費に関しては、社会資本整備総合交付金の交付決定に伴い、2億8,679万9千円の減額となっております。

ます。

下林南願成寺線(下青井町工区)、下林北願成寺線歩道設置工事、曙橋補修工事、下林願成寺線道路改良工事等による交付金の交付決定によるものです。

また、アスベスト調査分析事業補助金について、「店舗を営んでおられたが、今は営業をやめておられ、その店舗の部分にアスベストラシきものが吹き付けてあるので調査したいというもので、調査をしてはつきりアスベストが出るかどうかを確認するもの」との説明がっております。

損害賠償案件を承認

平成29年8月17日午前9時頃、一二三ヶ迫団地に居住する相手方の部屋に設置されている排水管の接合部が外れたことに伴う漏水により、相手方が所有する財産が汚損した事故に関し、相手方と損害賠償の額を決定し和解するものです。

「賠償はクリーニング代だけであるが、本人に確認したが健康被害はなかった」との説明がっております。

経済建設委員会行政視察報告

日程：平成29年10月24日(火)～26日(木)

視察先：岩手県花巻市

項目：花巻市起業化支援センターについて

内容：花巻市における花巻市起業化支援センターについては、平成8年に製造業を対象とする起業化支援センターを開設し、入居資格は、研究開発型やベンチャー企業などで、入居期間は5年。入居企業が利益が出て規模が大きくなると賃貸工場へ移ってもらい、さらに規模が大きくなると工業団地に土地を購入して移ってもらうというやり方で、企業を育てているのが特徴であります。

まとめ：花巻市での研修は、起業化支援センターの同じ職員が長期にわたり一貫して関わって企業を育てるというものであり、今回人吉市が行おうとしている起業創業・中小企業支援センターとは全く同じということではないが、考え方は参考になり、やはり中心となる人材が必要であると感じたところです。

視察先：青森県黒石市

項目：小さなまちかど博物館について

内容：黒石市における小さなまちかど博物館については、市の中心部において、空き店舗、空き家が増え、まずは町なかに足を運んでもらおうということで、小さなまちかど博物館を採用されています。

市の中心部に「中町こみせ通り」という昔ながら

の景観を残す通りがあり、その景観を残すために、マンション建設計画を民間の方が阻止するなどの経緯を経て、平成17年に重要伝統的建造物群保存地区に選定されており、元々銭湯だった場所を「松の湯交流館」として改装し、ふだんから市民に来てもらうための場所として運営をされています。

まとめ：黒石市での研修は、「まちづくりはつくって終わりではなく、つくった後、人に住んでもらってまちを育てていく」というコンセプトが重要であり、地域のまちづくり、そこに観光客をどのような形で呼び込んでいくのかの施策など連携しながら取り組んでいく必要性を感じました。



中町こみせ通り(黒石市)

市庁舎建設に関する特別委員会

●委員長 永山 芳宏 ●副委員長 高瀬 堅一

●委員 塩見 寿子・犬童 利夫・西 信八郎・笹山 欣悟・村上 恵一・三倉 美千子・仲村 勝治

新市庁舎の陸屋根構造案を承認

屋根構造については、RC^{*}造スラブ陸屋根と RC 造スラブ陸屋根+板金勾配屋根についての、屋根イメージ、防水工法、防水性能、耐久性能、遮熱性能、遮音性能、デザイン性、イニシャルコスト、ランニングコスト、評価について審議を行いました。委員からは、陸屋根の勾配の件等について質疑があり、執行部から、一般的な屋根スラブ勾配は 100 分の 1 だが、75 分の 1 にし、水が流れやすい構造とする、費用は増額にはならない、との答弁がありました。屋根構造については、慎重審議の結果、陸屋根構造案を承認・決定しました。

(※) RC：鉄筋コンクリート

人吉らしさの追求について

人吉らしさの追求については、人吉らしさをソフト面からも感じられる庁舎イメージを追求する、人吉の景観に配慮しながら相良 700 年の歴史を彷彿させる庁舎を追求する、質素な中にも市民サービス提供の拠点として市政に「親しみ」を感じることができる庁舎を追求する、との説明があり、市が掲げるまちづくりのテーマを演出、地理的条件を演出、建築様式で演出、

安らぎの空間を演出、人のぬくもり・出会いを演出、人吉の物語を通訳・翻訳・演出の 6 項目をキーワードとしています。委員から、玄関口は大手門風のデザインを、また、日本遺産を意識したデザインを検討してほしい、との意見がありました。

エレベーターの選定とシャワー室の設置

エレベーターの仕様は、15 人乗りのトランク付きと 15 人乗りの 2 基を承認、シャワー室は男性用・女性用を男女それぞれの更衣室に 1 カ所ずつ設置することを承認しました。



陸屋根構造の新市庁舎鳥瞰図（イメージ）

治水・防災に関する特別委員会

●委員長 福屋 法晴 ●副委員長 宮崎 保

●委員 宮原 将志・大塚 則男・平田 清吉・井上 光浩・豊永 貞夫・本村 令斗・田中 哲

九州電力株式会社川内原子力発電所視察

日程：平成 29 年 11 月 20 日（月）

視察先：九州電力株式会社川内原子力発電所（鹿児島県薩摩川内市）

項目：川内原子力発電所の安全対策について 等



現地視察の様子

第 13 回治水・防災に関する特別委員会

平成 29 年 11 月 29 日に、第 13 回治水・防災に関する特別委員会を開催し、平成 29 年 11 月 20 日に行いました九州電力株式会社川内原子力発電所視察に

係る視察のまとめを行いました。

委員会では、委員・執行部それぞれから意見をもらい、今後の人吉市における取り組み等について審議を行いました。

委員からの意見として、事故が起こった際、人吉市においてはどのように情報伝達が行われるのか、市民の方等への情報伝達をどのように行うのか等について研究する必要があるのではないかという意見や、人吉市に放射線量を測定する機械を設置できないかという意見、また、人吉市だけで取り組むのではなく、広域的に他自治体と連携しながら取り組むべきではないか、など多くの意見が出されました。

今後、安全対策や情報伝達・情報共有の部分で、さまざまに調査研修する必要があるため、治水・防災に関する特別委員会における協議や関係団体等との意見交換を行い、必要に応じて、国や県等に対して、要望等を行っていくことといたしました。

一般質問

12月定例会の一般質問は、12月5日から7日までの3日間で行われました。9人の議員が登壇し、さまざまな視点から、幅広く活発な議論が行われました。その要旨を各議員が報告します。



鉄道ミュージアムの今後



村上 恵一

問 人吉球磨圏外からの来館者が多い。肥薩線の鉄道文化のガイダンス施設として、しっかり役割を果たしていると思うか。

答 ミニ企画展などを行い、実際に稼働している鉄道のすぐ隣にある地の利を活かした施設という方向でいきたい。

問 1階は、そのまま無料開放で、2階フロアを肥薩線資料館に改良して、2階だけを有料にしているかどうか。

答 2階部分だけを有料化にするとしたら、それなりの展示物を展示する必要がある。スペースとして狭く、逆に不満が出るかなどが懸念される。

※できない理由を探すのではなく、できる方向を模索してほしいと要望した。

発達障害を持つ子どもの支援を



本村 令斗

問 発達障害の児童・生徒を応援する強い味方が、スクールソーシャルワーカーだと思う。発達障害やいじめ、不登校、虐待、貧困など学校や日常生活における問題に直面する子どもを支援する社会福祉の専門家で、本人だけでなく、家族や友人、学校、施設、地域など周囲の環境に働きかけて、問題解決を図っている。精神科医に、市の取り組みを前進させるには何が必要か聞いたところ、「スクールソーシャルワーカーを雇ってほしい」という返事だった。人吉市も、独自に配置すべきではないか。

答 本市独自のスクールソーシャルワーカーの雇用、または子ども・子育て相談員の増員による複数体制を前向きに検討したい。

新市庁舎建設によるまちの将来性は



笹山 欣悟

問 新市庁舎完成後、本市のまちのかたちがどう変わっていくと思われるか。

答 新市庁舎建設により発展する部分、市や市民サービスが拡充する部分がある一方で、さまざまに懸念される負の影響をいかに小さくしていくのかが大きな課題であることは認識している。

問 土地利用という観点から、50年後100年後につながるまちのあり方についてどう考えるか。

答 次期都市計画マスタープランは、50年後、100年後の人吉の土地利用をさらにコンパクト化し誘導するものでなければならぬ。さらに人口減少が続くと予想される中で人吉球磨圏域の中心としてどうあるべきかという見地で取り組んでいきたい。

中学生対象の防災部と 防災訓練について



大塚 則男

問 東京都荒川区が取り組んでいる中学生を対象とした防災部設置視察に同行されたが、学校教育の一貫としての取り組みについてどのように受け止められたか。

答 中学生がいろんな訓練や研修を受けて、知識を高め実践を重ねること、災害発生時には貴重な戦力となり、将来防災活動への積極的な関与、消防団としての活動が期待できる。

問 市の防災訓練に中学生が参加して、さまざまな模擬訓練、あるいは公民館を利用した避難訓練などを行ってはどうか。

答 市としては、今後多くの児童生徒に参加を呼びかけていきたい。また町内の自主防災訓練で子ども会や女性部の連携も重要であり積極的に支援していく。

観光客の動向と 案内板について



宮崎 保

問 本市を訪れた観光客の人数と観光消費額は。

答 平成28年の宿泊客は20万3千人で、日帰り観光客は99万3千人である。合計で119万6千人で、前年と比較すると、88.9%と下回り、観光消費額は11.6億円であった。

問 観光案内板が古くて見えにくい。取り替えや増設の考えは。

答 人吉駅や人吉城址の観光駐車場等に設置されているが、古くなり見えにくい案内板もある。観光客の誘導案内や、外国人観光客の増加対応に伴う看板設置の見直しや、多言語対応の必要性は感じているので、効率的な案内ができる場所など、関係部局と相談、検討し設置を進めたい。

※その他、都市計画について質問。

地域の安全確保は



仲村 勝治

問 「自分たちの地域は、自分たちで守る。」この共助の活動を実践するのが防災士である。防災士の資格は民間資格であるが、受講料、受験料、登録料として約6万円かかる。市が助成して資格取得を進められないか。

答 防災士は、共助の中心的役割を担っている。県内では、山鹿市、水俣市、多良木町、大津町が助成している。防災士の育成を前向きに検討していく。

問 地域の危機管理のために、防災士の活動を中心に地域づくりを進められないか。

答 自主防災組織の適正な規模を検証し、地域で運営できる自主防災組織の取り組みを目指す。

※その他、非常勤職員等の会計年度職員制度移行について質問した。

国民健康保険税の 負担軽減を



塩見 寿子

問 国民健康保険の加入者1人当たりの平均所得が43万4,109円、平均国保税が8万6,406円、負担割合は19.9%。国保税の負担は重い。負担軽減のためにどんな方策をとったか。

答 28年度から国保の医療費分の1人当たり均等割額を3,900円減額している。

問 28年度は1人当たり保険税額は23,344円減っているが、29年度はふえている。負担軽減をさらに進めるには、市独自の減免条例や法定外繰り入れは避けずは通れない課題だ。法定外繰り入れについて、厚労省の方針変更をどう認識しているか。

答 新聞報道に対する県の説明は、厚労省は国保の赤字解消のための繰り入れを容認していない。

小学校部活動の社会体育移行について



宮原 将志

問 小学校部活動の社会体育移行に向け、本市の取組の現況は。

答 放課後に総合的な運動を各小
学校で実施するということ。運
動部についてはメインの指導者
を複数名確保した上で、地域の
方々にはサポーターとして協力
をお願いするという基本方針を
決め、具体的な活動と運営方法
について検討している。

問 メインの指導者に体育協会の
職員や関係者、民間事業者のス
タッフを派遣してはどうか。

答 体育協会や民間事業者の資格
を持った方に引き受けてもらえ
れば、保護者の方々も安心でき、
年間を通して安定的に活動でき
る。実現できれば、人吉スタイ
ルの新しいスポーツ活動の形に
なるのではないかと考える。

通学路の安全対策と
石野公園の施設整備



福屋 法晴

問 通学路の安全点検を毎年行
い、危険箇所については、学校
と地域で共有することが大切で
はないか。また生徒に反射タス
キ着用の義務化はできないか。

答 通学路の安全対策として、地
域と共有していく。安全タスキ
の着用を徹底するよう校長会議
等で指導を行いたい。

問 石野公園古民家の屋根・竹垣・
朽ち果てた柱・看板などの整備
を、なぜ行わないのか。

答 今後、細心の注意を払い、早
急に安全整備を行いたい。

問 公園内にあるチビッコ広場の
場所がわかりづらいので、看板
の設置をしてほしい。

答 東側にはチビッコ広場駐車場
と書き換え設置、正面玄関には
設置場所等を検討したい。

老人クラブ連合会の皆さまとの 意見交換会を行いました

平成 29 年 10 月 24 日に、市役所仮本庁舎委員会室におきまして、厚生委員会と人吉市老人クラブ連合会（市老連）の皆さまと、「持続可能な人吉市老人クラブ連合会のあり方について」をテーマに意見交換会を行いました。この意見交換会は、より開かれた議会となるよう昨年 6 月に制定した「市民と議会の意見交換会」実施要綱に基づき開催したものです。

当日は、三倉市老連会長と高瀬厚生委員長との挨拶、出席者の自己紹介のあと、三倉市老連会長から高齢社会に対する市老連と行政の連携について説明を受け、議員から、行政との連携、老人クラブに求める年代別の傾向、老人福祉センターの委託などについて質問を行いました。

また、市老連の皆さまからは、会員減少の現状、会員の増強策、地域支援事業や特定健診、乗り合いタクシーの問題などについても意見・要望が出され、活発な意見交換が行われました。

最後に、議員から、会合の場などで挨拶のときに老人会加入や特定健診について触れること、今後とも意見交換を行っていくことを確認して閉会しました。



意見交換する厚生委員会と老人クラブ連合会

平成 29 年 12 月定例会の議案等の議決結果

番 号	件 名	議決結果
議 第 70 号	平成 28 年度人吉市水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
議 第 71 号	平成 28 年度人吉市公共下水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
議 第 80 号	平成 28 年度人吉市歳入歳出決算認定について	原案認定
議 第 81 号	専決処分の承認を求めることについて（平成 29 年度 人吉市一般会計補正予算（第 4 号））	原案承認
議 第 82 号	平成 29 年度 人吉市一般会計補正予算（第 5 号）	原案可決
議 第 83 号	平成 29 年度 人吉市一般会計補正予算（第 6 号）	原案可決
議 第 84 号	平成 29 年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議 第 85 号	平成 29 年度 人吉市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議 第 86 号	平成 29 年度 人吉市介護サービス事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議 第 87 号	平成 29 年度 人吉市工業用地造成事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議 第 88 号	人吉市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 89 号	人吉市職員の退職手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 90 号	人吉市応援基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 91 号	市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 92 号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決
議 第 93 号	損害の賠償について	原案可決
議 第 94 号	損害の賠償について	原案可決
議 第 95 号	平成 29 年度 人吉市一般会計補正予算（第 7 号）	原案可決
議 第 96 号	平成 29 年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議 第 97 号	平成 29 年度 人吉市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議 第 98 号	平成 29 年度 人吉市介護サービス事業特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議 第 99 号	平成 29 年度 人吉市水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議 第 100 号	平成 29 年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議 第 101 号	人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 102 号	人吉市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 103 号	人吉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
発 議 第 3 号	人吉市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案否決
意 見 第 13 号	道路事業予算の総額確保等に関する意見書	原案可決
意 見 第 14 号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決

平成 29 年 12 月定例会の請願・陳情等の議決結果

付託委員会	件 名	議決結果
総務文教委員会	陳情書（土木・建築工事の発注に関する陳情）	趣旨採択
総務文教委員会	人吉市役所新庁舎建設工事に関する陳情書	趣旨採択
経済建設委員会	農道整備（拡幅・舗装）に関する陳情書	継続審査

議員別表決

表決が割れた」議案等とその議員別表決

賛否が分かれたもののみを掲載しております。

議 案 番 号	議 案	議員氏名	塩見寿子	宮原将志	高瀬堅一	大塚則男	宮崎保吉	平田清吉	犬童利夫	井上光浩	豊永貞夫	西信八郎	本村令斗	笹山欣悟	福屋法晴	村上恵一	永山芳宏	三倉美千子	仲村勝治	田中哲
議第 70 号	平成 28 年度人吉市水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	／
議第 71 号	平成 28 年度人吉市公共下水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	／
発議 第 3 号	人吉市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について		○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	／

○：議案に対して賛成 ●：議案に対して反対 ／：議長は表決に加わりません

★道路事業予算の総額確保等に関する意見書

- 1 今後も地方が持続的に発展していくために、長期安定的に道路整備が進められるよう、必要な道路事業予算の所要額を満額確保するよう強く要望する。
- 2 「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定により、交付金事業の補助率等のかさ上げ措置についても財源の厳しい地方自治体にとって、道路整備が遅れぬよう、平成30年度以降も引き続き継続されるよう強く要望する。

★地方財政の充実・強化を求める意見書

- 1 社会保障、災害対策、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保をはかること。
- 2 子ども・子育て支援新制度、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの構築、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保および地方財政措置を的確に行うこと。
- 3 地方交付税における「トップランナー方式」の導入は、地域によって人口規模・事業規模の差異、各自治体における検討経過や民間産業の展開度合いの違いを無視して経費を算定するものであり、廃止・縮小を含めた検討を行うこと。
- 4 災害時においても住民の命と財産を守る防災・減災事業は、これまで以上に重要であり、自治体庁舎をはじめとした公共施設の耐震化や緊急防災・減災事業の対象事業の拡充と十分な期間の確保を行うこと。また、2015年度の国勢調査を踏まえた人口急減・急増自治体の行財政運営に支障が生じることがないように、地方交付税算定のあり方を引き続き検討すること。
- 5 地域間の財源偏在性の是正のため、偏在性の小さい所得税・消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、抜本的な解決策の協議を進めること。
同時に、各種税制の廃止、減税を検討する際には、自治体財政に与える影響を十分検証した上で、代替財源の確保をはじめ、財政運営に支障が生じることがないように対応をはかること。
- 6 地方財政計画に計上されている「歳出特別枠」「まち・ひと・しごと創生事業費」等については、自治体の財政運営に不可欠な財源となっていることから、現行水準を確保すること。また、これらの財源措置について、臨時・一時的な財源から恒久的財源へと転換をはかるため、社会保障、環境対策、地域交通対策など、経常的に必要な経費に振り替えること。
- 7 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかり、市町村合併の算定特例の終了を踏まえた新たな財政需要の把握、小規模自治体に配慮した段階補正の強化などの対策を講じること。
同時に、地方交付税原資の確保については、臨時財政対策債に過度に依存しないものとし、対象国税4税（所得税・法人税・酒税・消費税）に対する法定率の引き上げを行うこと。

12月定例会では、2件の意見書を可決し関係機関へ提出しました。

（要旨を抜粋）



人吉市子ども議会を開催しました

人吉市議会では、人吉市教育委員会と共催で「人吉市子ども議会」を平成30年1月19日（金）に開催しました。

市内6小学校の第6学年の各クラスから、児童各2人の合計20人からなる「子ども議員」が、市民生活と行政との関わり、市が直面するさまざまな課題やまちづくりについて、活発に質問しました。



議員席の児童たち

順	質 問 項 目	質 問 の 要 旨	担 当 課
1	人吉東小学校6年1組 子ども議員 岩元 寛和・西 秀太 ①人吉の経済産業の活性化について	○「人吉、お金の地産地消」プロジェクトの提案について	商工振興課
	人吉東小学校6年2組 子ども議員 岩下すみれ・溝口 清加 ②情報モラルと一人1台のタブレット端末を	○正しくスマートフォン等を活用するための知識と技能を身に付けるためには ○人吉市の小・中学校におけるタブレット端末の普及について	学校教育課 学校教育課
2	東間小学校6年1組 子ども議員 田中 美羽・田上 心 ①大童球溪誕生祭について ②人吉市の歴史と文化について	○「大童球溪誕生祭」の開催について ○「人吉城」の復元について	歴史文化課
	東間小学校6年2組 子ども議員 告川 滉・西 悠雅 ③障がい者の方の就労について ④人吉らしく移動について	○就労施設の建設や環境づくりについて ○高齢者の方の移動手段について	福 祉 課 企 画 課
3	中原小学校6年1組 子ども議員 愛甲 優日・杉野 怜 ①子どもたちが安心して遊べて、みんなが楽しめる町について	○安心して遊ぶ場所がある町づくり ○小さい子どもからお年寄りまでが楽しめる町づくり	都市計画課 観光振興課
	中原小学校6年2組 子ども議員 東 真叶・正岡 芽依 ②人吉の名所を生かしつつ新しいことに取り組もう	○日本に誇れる観光地「球磨川」を活かした取組について（SNSの活用等） ○駅周辺を新しくする取組について	企 画 課 観光振興課
4	大畑小学校6年 子ども議員 茂田 愛梨・宮本 昂 ①学校と地域が一体となった清掃・リサイクル活動について	○学校と地域の方との共同の清掃活動について ○学校と地域の方々が一体となったりサイクル活動について	環 境 課 学校教育課
5	西瀬小学校6年 子ども議員 越智 天佑羽・久保 明日香 ①安心安全のまちづくりについて	○児童生徒の通学路の安全対策について ○地域の公園整備について	防災安全課 道路河川課 都市計画課
6	人吉西小学校6年1組 子ども議員 豊田 紀子・山崎 南 ①観光客と市民の共存について	○人吉市を大切な場所と思えるために ○観光にきた人のマナーの改善のために	観光振興課
	人吉西小学校6年2組 子ども議員 寺井 彩花・油井 拓 ②人吉市の防災について	○球磨川氾濫時の浸水防止対策について ○避難所の災害時の備えについて	防災安全課



編集後記

平成30年も早いもので2月も半ばを過ぎました。元号である平成も来年5月から改元されることが決まり、昭和生まれにとっては時代の流れを感じさせるものがあります。

本市では新庁舎建設へ向けて、青少年ホーム一帯の解体も進められています。が、本年からは旧庁舎の解体も開始され、市民の皆様にも目に見えて時代の転換期を感じられるのではないのでしょうか。

さて、今年は明治維新から150年目を迎えます。国を良くしたいとの情熱を持った若者が、命懸けで成し遂げた革命だったと思います。時代は変われど私達市議会も、熱い情熱を持って市政発展のために働いていく所存です。本年もよろしくお願いたします。

（表紙写真・文責：豊永 貞夫）

次の定例会は
3月の予定です

【議会報編集委員会】 委員長／田中 哲 副委員長／仲村 勝治
委 員／高瀬 堅一・大塚 則男・豊永 貞夫・本村 令斗・笹山 欣悟・永山 芳宏